



茨城労働局発表
平成25年8月30日

【照会先】

茨城労働局労働基準部(健康安全課)
課長 青山 努
課長補佐 中島 英明
(直通電話)029(224)6215

平成25年上半期労働災害発生状況

～死亡災害・死傷者数ともに大幅に減少～

茨城労働局(局長 中村俊一)は茨城県内の平成25年上半期(1月から6月)までの労働災害発生状況を取りまとめました。

○死亡災害：11人

※前年同期が21人で、対前年比10人(47.6%)の大幅な減少

○死傷者数：1,123人

※前年同期が1,255人で、対前年比132人(10.5%)の減少

※運輸交通業では前年同期154人で、35人(22.7%)の大幅な増加

1 労働災害発生状況(表1～4、図1～7参照)

(1) 死亡災害発生状況

上半期の死亡災害は11人で、前年の21人に比べ、10人(47.6%)の大幅な減少となっています。上半期の死亡者数11人は統計で確認できる平成元年以降最少の死亡者数です。

業種別にみると建設業が最も多く4人、次いで製造業で3人、商業で3人、運輸交通業で1人となっています。

被災状況としては、道路上における交通事故が3人と最も多く、次いで激突

され、はさまれ・巻き込まれ、崩壊・倒壊がそれぞれ2人などとなっています。

(2) 死傷者数

死傷者数については1,123人で、前年の1,255人と比較し、132人(10.5%)の減少となっています。

業種別にみると製造業が335人(構成比29.8%)と最も多く、次いで運輸交通業の189人(同16.8%)、商業の140人(同12.5%)、建設業の137人(同12.2%)の順となっています。

前年同期と比較すると、運輸交通業で35人(22.7%)の増加となっています。

事故の型別にみると、転倒232人(構成比20.7%)、墜落・転落220人(同19.6%)、はさまれ・巻き込まれ170人(同15.1%)、動作の反動・無理な動作109人(同9.7%)とほぼ前年と同様の被災状況となっています。

2 茨城労働局の対応

(1) 第12次労働災害防止推進計画の推進

茨城労働局では、「第12次労働災害防止推進計画」(計画期間：平成25年度から平成29年度)を本年4月に策定しています。

同計画では、死亡災害は、12次防期間中の発生件数を11防期間中の15%以上減少させること、死傷者数は、平成24年と比較して、平成29年までに20%以上減少させることを目標としています。

本年度は計画の初年度に当たりますので、計画の周知・啓発を行い、国、労働災害防止団体、事業者、労働者等の関係者と安全衛生の意識を共有して、目標達成を目指します。

(2) 道路貨物運送業に対する労働災害防止対策

上半期の労働災害発生状況をみると、道路貨物運送業の労働災害が増加していることから、関係団体である陸上貨物運送事業労働災害防止協会茨城県支部長に対し、平成25年7月に茨城労働局長名で労働災害防止対策の徹底について、文書要請を行いました。

表1

労働災害発生状況(茨城)

(平成25年6月末現在)

| 業種別 | 休業4日以上 | | 死亡者数 | | 増減 | | | |
|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|------|-----|-------|
| | 24年 1月~6月 | 25年 1月~6月 | 24年 1月~6月 | 25年 1月~6月 | 休業 | 率(%) | 死亡 | 率(%) |
| 計 | 1,255 | 1,123 | 21 | 11 | -132 | 10.5 | -10 | 47.6 |
| 製造業 | 399 | 335 | 4 | 3 | -64 | 16.0 | -1 | 25.0 |
| 食料品 | 125 | 98 | 0 | 0 | -27 | 21.6 | 0 | 0.0 |
| 化学 | 25 | 33 | 2 | 1 | 8 | 32.0 | -1 | 50.0 |
| 金属製品 | 81 | 65 | 1 | 1 | -16 | 19.8 | 0 | 0.0 |
| 建設業 | 187 | 137 | 7 | 5 | -50 | 26.7 | -2 | 28.6 |
| 土木 | 49 | 43 | 2 | 2 | -6 | 12.2 | 0 | 0.0 |
| 建築 | 82 | 46 | 5 | 2 | -36 | 43.9 | -3 | 60.0 |
| その他 | 37 | 30 | 2 | 1 | -7 | 18.9 | -1 | 50.0 |
| 運輸交通業 | 154 | 189 | 3 | 1 | 35 | 22.7 | -2 | 66.7 |
| 道路貨物運送業 | 133 | 154 | 3 | 1 | 21 | 15.8 | -2 | 66.7 |
| 貨物取扱業 | 12 | 9 | 0 | 0 | -3 | 25.0 | 0 | 0.0 |
| 農林業 | 20 | 14 | 0 | 0 | -6 | 30.0 | 0 | 0.0 |
| 畜産水産業 | 57 | 52 | 0 | 0 | -5 | 8.8 | 0 | 0.0 |
| 商業 | 129 | 140 | 4 | 3 | 11 | 8.5 | -1 | 25.0 |
| 小売業 | 100 | 110 | 4 | 2 | 10 | 10.0 | -2 | 50.0 |
| 社会福祉施設 | 47 | 42 | 0 | 0 | -5 | 10.6 | 0 | 0.0 |
| その他 | 250 | 205 | 3 | 0 | -45 | 18.0 | -3 | 100.0 |

図1

休業4日以上

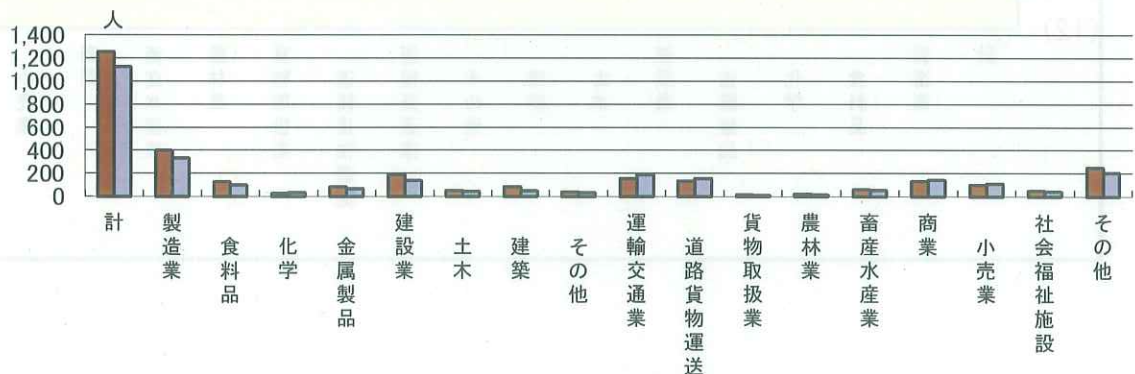


図2

死亡者数

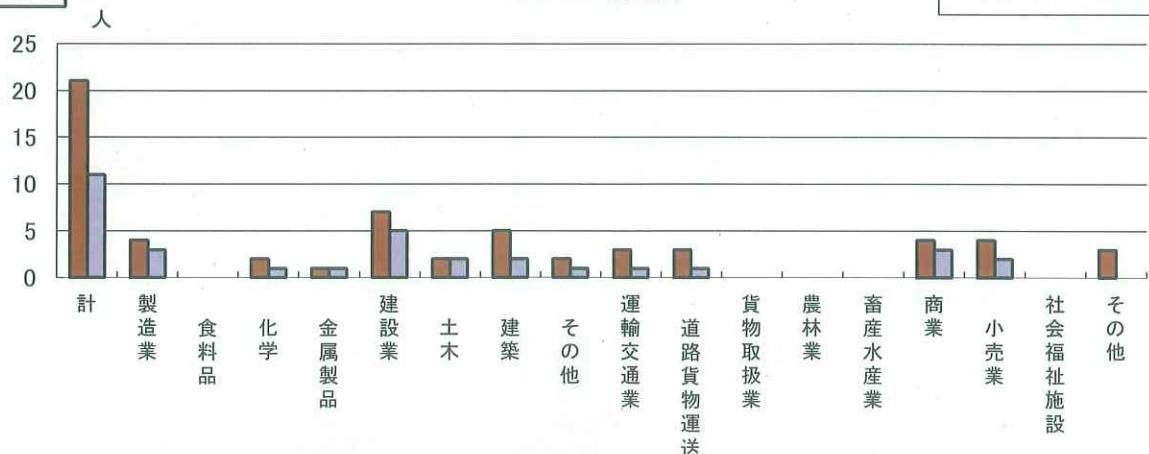


図3

災害発生状況の前年との増減（休業4日以上）

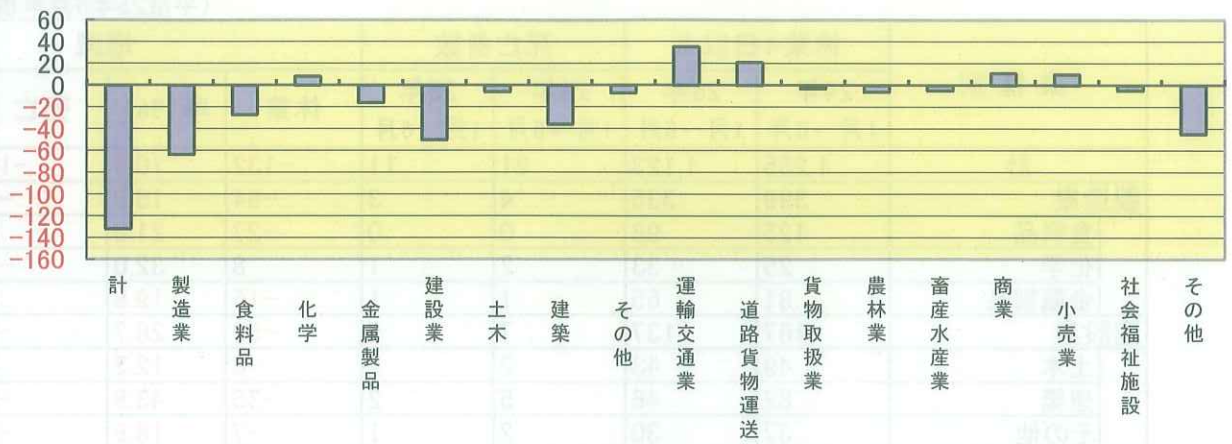


図4

災害発生状況の前年との増減（死亡）

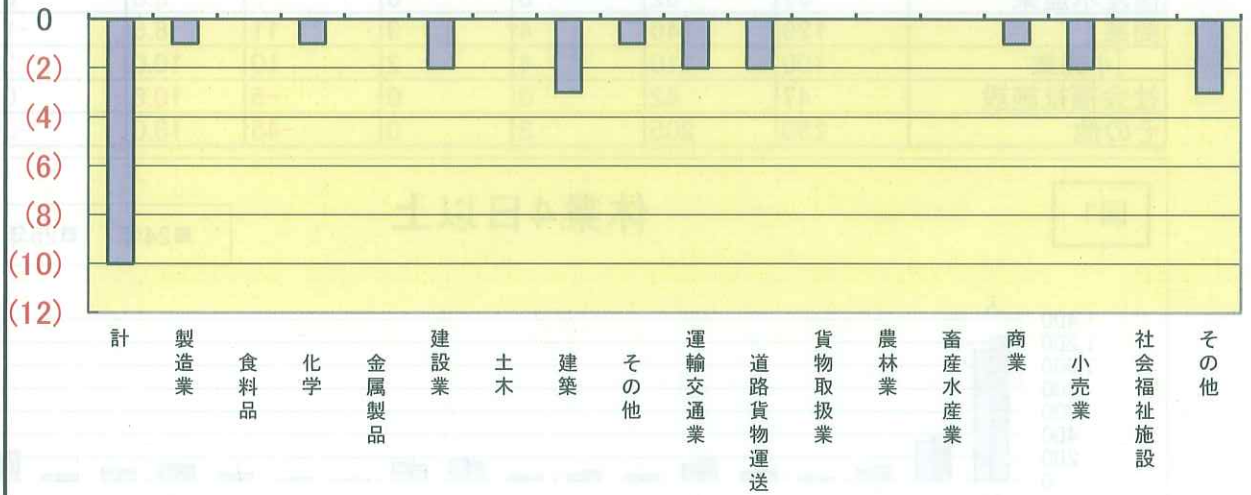
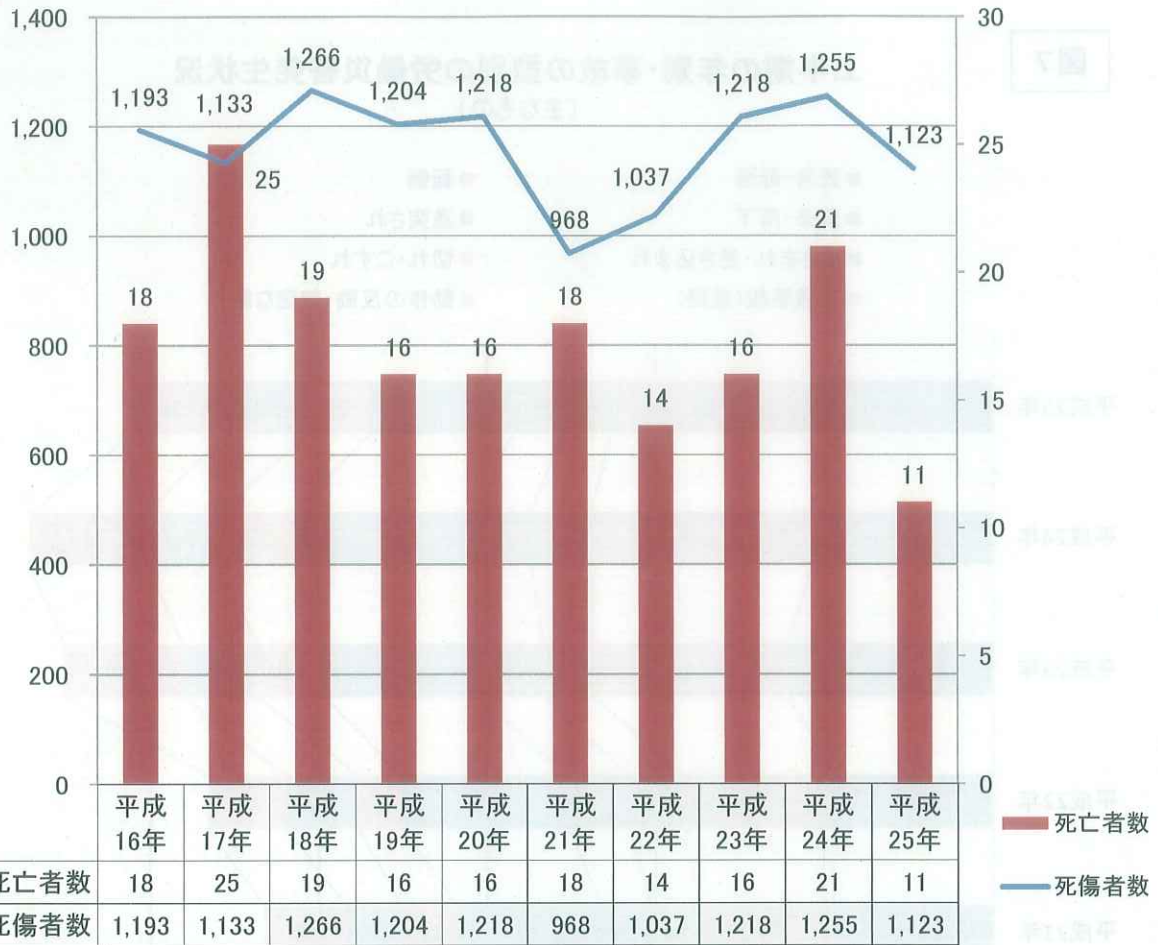


図5

1月～6月期 労働災害発生状況



※死亡者数は死傷者数の内数です。

図6

平成25年 死亡災害の事故の型

(人)



図7

上半期の年別・事故の型別の労働災害発生状況
(主なもの)

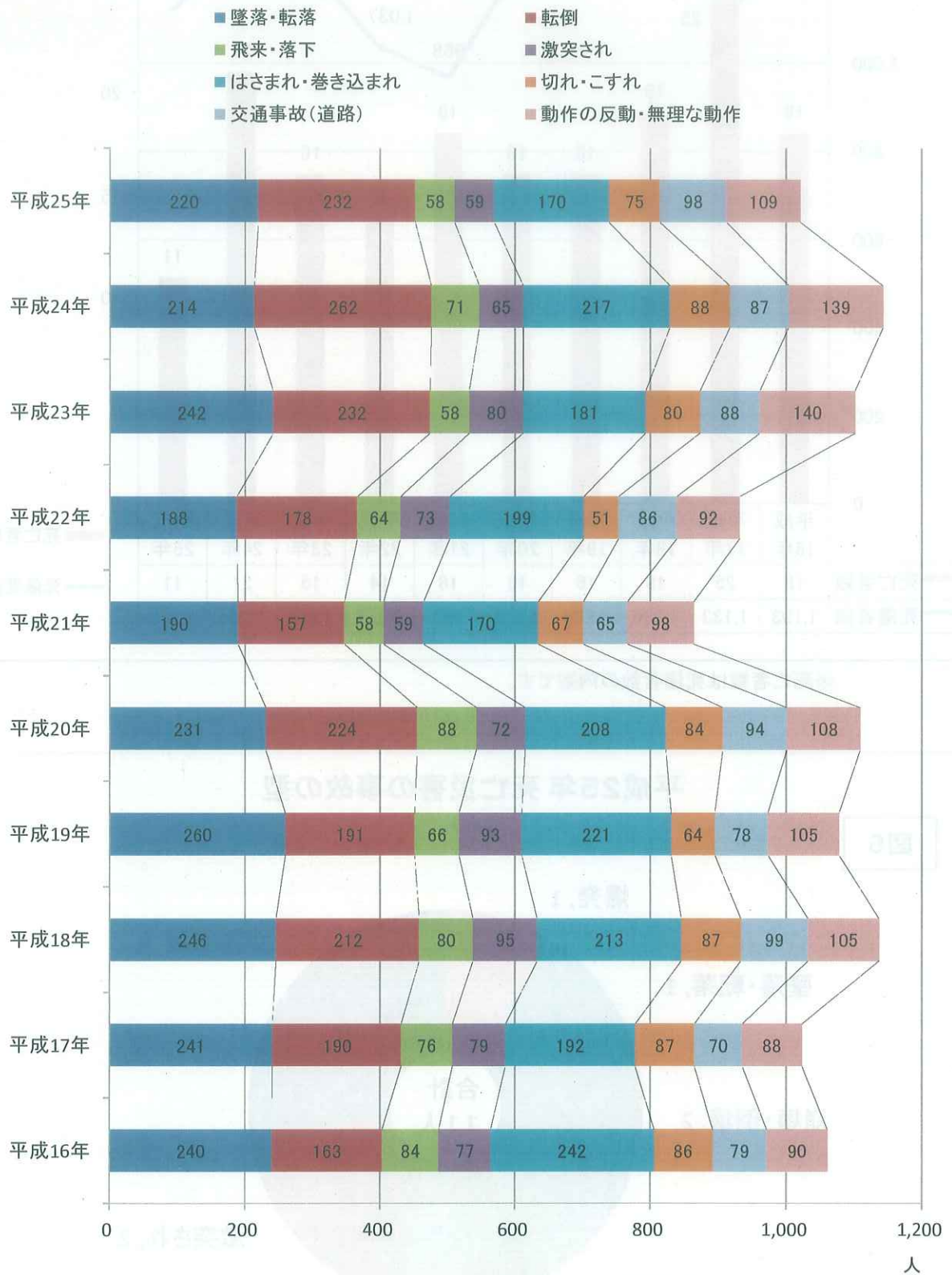


表2

平成25年死亡災害事例

| NO. 発生日時 | 職 種 年齢 経験年数 | 事業の種類 | 事故の型 | 災害の概要 |
|----------------------|----------------------------|-----------------|-----------------------------------|---|
| | | | 起因物 | |
| No.1 1月 5～6時 | 配達員 60歳代 10年 | 新聞販売業 | 交通事故 (道路) 乗用車・バス・バイク | 朝刊の配達のためバイクで道路を走行中、転倒して右側前方のガードレールに衝突し死亡した。前日からの雪で路面は凍結していた。 |
| No.2 1月 14～15時 | 鉄骨工 70歳代 30年 | その他の建築 工事業 | 墜落・転落 足場 | 倉庫2階において荷物用エレベーターを設置するため、ローリングタワーを使用して鉄骨枠組みの部材を取り付け作業中、2階床面がエレベーターを設置するために開口部となっていたことから、高さ7.8mの位置から1階床に墜落して死亡した。 |
| No.3 1月 14～15時 | 技術者 40歳代 25年 | 機械器具設置 工事業 | 爆発 化学設備 | ガスタービン発電設備において燃料ガス(都市ガス)圧縮設備配管内の異物を確認するため、フランジを外してストレナーを取り出した配管(内径38cm)に、上半身が配管に入る姿勢で異物を確認していたところ、配管内部で爆発が起き、その勢いで被災者の体が配管から外部に押し出され、後方に倒れた際にコンクリート床の配管に頭部を強打し死亡したものと推定される。被災者はヘルメットと安全帯を外しライトを持って配管内に立ち入っていた。 |
| No.4 2月 4～5時 | 運転者 40歳代 12年 | その他の 卸売業 | 交通事故 (道路) トラック | 2tトラックで国道を運転中、信号待ちして停車していたトレーラーの後部に追突し、頭部を打撲し死亡した。 |
| No.5 2月 16～17時 | その他の 製造工 60歳代 35年 | その他の金属 製品製造業 | はさまれ・ 巻き込まれ その他の金属 加工用機械 | 被災者がゴミ箱に飲料水の空きボトルを捨てようとしたところ、レールに沿って自動で移動するNCガス穴開機の接近に気づかず、NC穴開機付属の制御盤と、ゴミ箱の隣に設置されていた消火器ケース(木製)との間に体を挟まれ、搬送先の病院にて死亡した。 |
| No.6 3月 10～11時 | 土工 40歳代 30年 | 道路建設 工事業 | 激突され 掘削用機械 | 被災者は、ドラグショベルのバケットに入った生コンをスコップですくい取り、法面下の木枠に敷きならし作業をしていたところ、他の労働者が、生コンを積んだダンプを後退させようとした時、ダンプの荷台にスコップが立て掛けてあるのを発見したドラグショベルの運転手がこれを注意しようとした際に、ドラグショベルの操作レバーに腕が接触し、アームが動いてバケット脇にいた被災者がバケットと土手の間にはさまれ死亡した。 「震災復旧工事災害」 |
| No.7 3月 14～15時 | 作業員 70歳代 1年 | その他の土木 工事業 | 激突され 立木等 | 民家裏の竹林等伐採作業現場において、樹高約20m(胸高直径約27cm)の杉の木をチェーンソー及びチルホールを用いて、横方向に伐倒したところ、伐倒方向にいた被災者を直撃した。被災者は伐木後の片付けをしていた。 |

| NO. 発生日時 | 職 種 年齢 経験年数 | 事業の種類 | 事故の型 | | 災害の概要 |
|----------------------|-----------------------------|-----------------|----------------|--|--|
| | | | 起因物 | | |
| No.8 5月 15～16時 | 積卸業者 50歳代 4ヶ月 | その他の 小売業 | 崩壊・倒壊 | | 集成材からおが屑を製造する工場内の積み込み場所において、おが屑をサイロの落とし口から4トントラックの荷台の上に積み込み作業中、サイロの落とし口からおが屑が出てこないため、荷台上にいた被災者は長い木の棒をサイロの出口に差し込んでいたところ、被災者の上に大量のおが屑が落下して埋まり、病院へ搬送されたが、死亡した。 |
| | | | 建築物・ 構築物 | | |
| No.9 5月 16～17時 | 製造工 30歳代 8ヶ月 | プラスチック 製品製造業 | 崩壊・倒壊 | | 金型保管場所で、金型を金属製ラックにしまおう作業中、金型が手前に倒れて体の右側に当たり転倒し、病院へ運ばれたが、約1ヵ月後に容体が急変し、死亡した。 |
| | | | 金属材料 | | |
| No.10 6月 6～7時 | 運転者 20歳代 1ヵ月 | 一般貨物自動 車運送業 | 交通事故 (道路) | | 自社所有の2tトラックで走行中、交差点で、信号待ちで停車していた10tダンプに後方から追突し、死亡した。 |
| | | | トラック | | |
| No.11 6月 7～8時 | 金属材料 製造検査工 60歳代 3年 | 製鉄・製鋼・ 圧延業 | はさまれ・ 巻き込まれ | | 作業員2名で、鋼管（外径約0.7m、長さ約18m、重量約6t）を搬送ライン機械によって移動させ、刻印を打つ作業中、刻印操作盤のロックを被災者が解除、その合図を受けた同僚が自動印字ライン操作盤のロックを解除してキッカー（はね上げ装置）を作動させ、鋼管を転がしたところ、鋼管の前方にいた被災者が鋼管端部に接触し、うつ伏せに倒れ鋼管に轢かれ死亡した。 |
| | | | 金属材料 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

表3

平成25年における死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上之死傷災害）

（速報）

（全国）

（平成25年7月7日現在）

| 業種 | 平成25年(1月～6月) | | 平成24年(1月～6月) | | 対24年比較 | |
|-----------|--------------|--------|--------------|--------|--------|--------|
| | 死傷者数(人) | 構成比(%) | 死傷者数(人) | 構成比(%) | 増減数(人) | 増減率(%) |
| 全産業 | 45,663 | 100.0 | 47,665 | 100.0 | -2,002 | -4.2 |
| 製造業 | 10,652 | 23.3 | 11,791 | 24.7 | -1,139 | -9.7 |
| 鉱業 | 100 | 0.2 | 97 | 0.2 | 3 | 3.1 |
| 建設業 | 6,653 | 14.6 | 6,700 | 14.1 | -47 | -0.7 |
| 交通運輸事業 | 1,364 | 3.0 | 1,358 | 2.8 | 6 | 0.4 |
| 陸上貨物運送事業 | 5,604 | 12.3 | 5,705 | 12.0 | -101 | -1.8 |
| 港湾荷役業 | 137 | 0.3 | 157 | 0.3 | -20 | -12.7 |
| 林業 | 751 | 1.6 | 878 | 1.8 | -127 | -14.5 |
| 農業、畜産・水産業 | 1,023 | 2.2 | 1,032 | 2.2 | -9 | -0.9 |
| 第三次産業 | 19,379 | 42.4 | 19,947 | 41.8 | -568 | -2.8 |

(注) 1 労働者死傷病報告より作成したもの。

2 「-」は減少を示す。

平成25年における死亡災害発生状況 (速報)

(全国)

(平成25年7月7日現在)

表4

| 業種 | 平成25年(1月～6月) | | 平成24年(1月～6月) | | 平成23年(1月～6月) | | 対24年比較 | | 対23年比較 | |
|---------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 死亡者数(人) | 構成比(%) | 死亡者数(人) | 構成比(%) | 死亡者数(人) | 構成比(%) | 増減数(人) | 増減率(%) | 増減数(人) | 増減率(%) |
| 全産業 | 366 | 100.0 | 444 | 100.0 | 409 | 100.0 | -78 | -17.6 | -43 | -10.5 |
| 製造業 | 73 | 19.9 | 87 | 19.6 | 83 | 20.3 | -14 | -16.1 | -10 | -12.0 |
| 鉱業 | 4 | 1.1 | 4 | 0.9 | 3 | 0.7 | 0 | 0.0 | 1 | 33.3 |
| 建設業 | 124 | 33.9 | 158 | 35.6 | 130 | 31.8 | -34 | -21.5 | -6 | -4.6 |
| 交通運輸業 | 3 | 0.8 | 5 | 1.1 | 7 | 1.7 | -2 | -40.0 | -4 | -57.1 |
| 陸上貨物運送業 | 34 | 9.3 | 56 | 12.6 | 52 | 12.7 | -22 | -39.3 | -18 | -34.6 |
| 港湾荷役業 | 5 | 1.4 | 5 | 1.1 | 4 | 1.0 | 0 | 0.0 | 1 | 25.0 |
| 林業 | 16 | 4.4 | 18 | 4.1 | 16 | 3.9 | -2 | -11.1 | 0 | 0.0 |
| その他 | 107 | 29.2 | 111 | 25.0 | 114 | 27.9 | -4 | -3.6 | -7 | -6.1 |

- (注) 1 死亡災害報告より作成したもの
 2 「-」は減少を示す。
 3 「その他の業種」については別掲。